

小児科 4 研修で経験が望ましい項目 (minimum requirement)

	回診、発表会	日付	回数
A	各班カンファレンスでプレゼンテーションした		
A	総合回診でプレゼンテーションした		
A	研修医発表会でプレゼンテーションした		
A	多職種カンファレンスに参加した		
B	地方会・研究会に参加		
C	地方会・研究会で発表		
	病棟		
A	入院患者を受け持った		
A	病状説明に関わった		
A	採血を行った		
A	静脈ルートをとった		
A	処方を行った		
A	処置に応じた適切な鎮静薬を選択できた		
A	上級医の指導の下、鎮静を行った		
A	超音波検査を行った		
A	各班の検査（腎生検、骨髄穿刺、腰椎穿刺、負荷試験、心臓カテーテル検査、新生児の採血など）に携わった		
A	退院説明に関わった		
B	病状説明に関わる		
B	退院説明に関わる		
B	上級医の指導の下、鎮静を行う		
B	年齢や体重に応じた輸液量、薬剤量を決める		
B	腎生検、骨髄穿刺、腰椎穿刺、負荷試験、心臓カテーテル検査、新生児の採血のいずれかを行う		
C	上級医の下、書面で病状説明を行う		
	外来		
A	外来患者の診察を行った		
A	病状説明に関わった		
A	採血を行った		
A	静脈ルートをとった		
A	皮下注射を行った		
A	筋肉内注射を行った		

A	血液培養をとった		
B	皮下注射を行う		
B	病状説明に関わる		
B	筋肉内注射を行う		
B	血液培養をとる		
	当直		
A	上級医と当直業務に携わった		
A	救急外来で上級医と患者の初期対応を行った		
A	入院患者の対応を行った		
A	救急車対応を行った		
B	入院患者の対応を行う		
B	救急車対応を行う		
	経験すべき症状・病態		
A	咳嗽・喘鳴の診療		
A	腹痛・嘔吐・下痢の診療		
A	PALS シミュレーションへ参加		
B	血尿・蛋白尿の鑑別		
B	腎機能の評価		
B	貧血の鑑別		
B	出血傾向の鑑別		
B	新生児期発症先天性心疾患の鑑別		
B	頻脈性不整脈の鑑別		
B	新生児マススクリーニング陽性者の初期対応		
B	成長障害の鑑別		
B	発熱の鑑別		
B	痙攣の鑑別		
B	新生児適応障害の診療		
B	早産児(在胎 33 週以上)の診療		

- A 4 週間で経験することが望ましい
B 8 週間で経験することが望ましい
C 12 週間で経験することが望ましい